

BOB 会東北支部「歩こう会」活動報告

3月27日（木）城下町仙台～現在も残る藩政期のコンセキを辿る～

3月27日（木）「歩こう会」は、ブラキムラさんに講師をお願いして伊達藩時代の城下町の痕跡を辿ることにしました。タモリさんの NHK 番組「ブラタモリ仙台編」の案内役を務めた木村浩二さん（通称：ブラキムラさん）は、放映以降大変な人気で中々スケジュールが取れないのですが、今回はご無理を言って講師兼案内役をお引き受けいただきました。

地下鉄東西線仙台国際センター9：30 集合して、仙台城大手門跡から大橋、大町から芭蕉の辻までの約2kmを木村さん所有の藩政時代の絵地図を見ながら巡りました。

木村さんは、元仙台市文化財課職員でもあり、また仙台段差崖会員でもありますから、仙台城の崖、広瀬川の段差から続く大町までの急坂（大坂）は大変気になるところで、お話しにも熱が入ってだんだん時間も押して来ることに。それでも、お話しが丁寧で分かりやすく、皆さんもだんだん話に引きずり込まれてしまいました。とても2時間半では無理な話ですから、改めて第2弾、第3弾をお願いする事で今回は終了することにしました。

歩いた後は、食事場所の中国北京料理飛天に場所を移して、ここでも最後の“まとめ”のお話をいただいた後、一緒に食事をいただいて解散いたしました。ブラキムラさんありがとうございました。

<参加者>：13名

石黒秀雄、田島正義、清水義春、高橋 翁、安倍光一、佐藤茂雄、齊藤 修、阿部善幸、前田健二、古川秀一、畠山 廣、千葉幸洋、中鉢孝男、



<講師は、元仙台市職員で、NHK ブラタモリ仙台編に出演された木村浩二さん、伊達藩時代の絵地図を見ながら、そのコンセキを探る事にしました。>

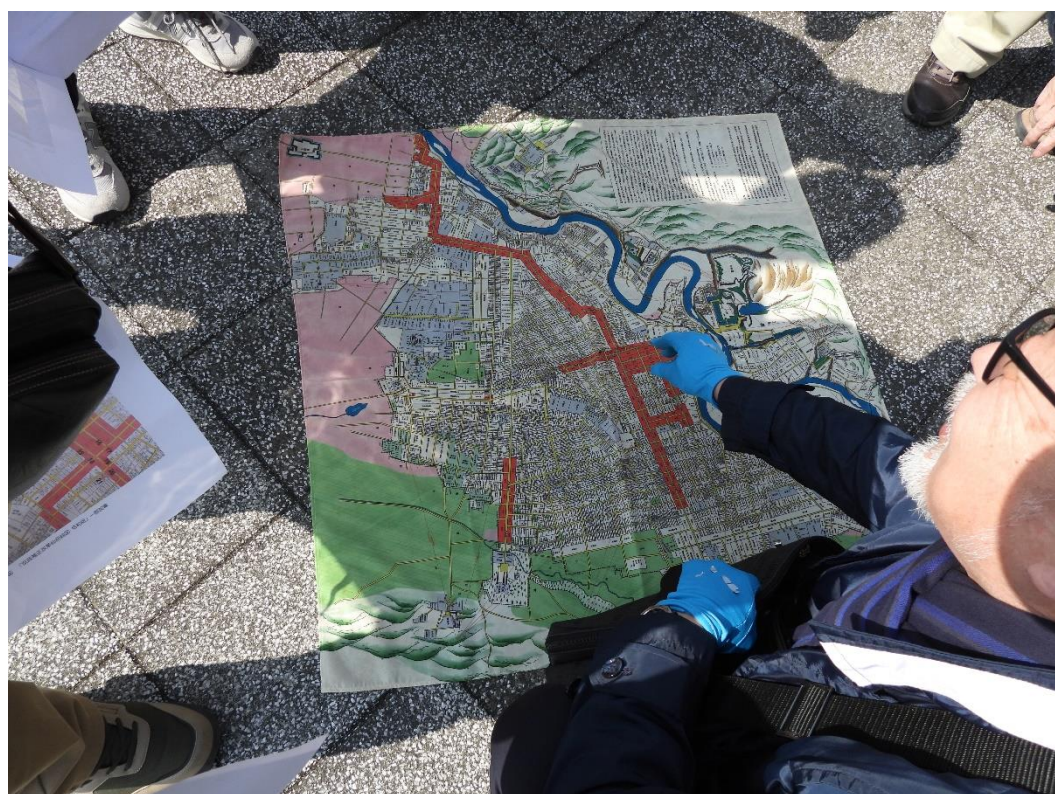


<午前9：30>

地下鉄東西線国際センター駅南口に集合。ブラキムラさんから事前にいただいていた絵地図と解説書に基づいて、出発前の事前学習を行って頂きました。今日は天気も良く、歩くのには最高の気候でした。

<絵地図>

木村さん所有の絵地図は、風呂敷にもなる便利なものです。撥水性もいいので何を包んでも漏れる事が無い優れものですが、限定品なので既に在庫が無いと言う事でした。残念！！





<扇坂>

二の丸への登城口。仙台城は、本丸には城を作らずに、二の丸と三の丸（東丸）に御殿を構えて執務をおこなった。
坂入り口が扇状に広がって広場を呈している。

<大手門下の枳形>

登城路は二度屈曲して門をくぐるようになっている。こちら側は石垣では無く土塁のまま。



<大手門跡の石垣>

大手門の右側の石垣。この大手門から続く城下への道は、大橋から大町そして仙台駅前までほぼ直線の道路となっている。



<大手門跡>

大手門櫓は昭和20年7月の空襲により焼失した。現在復元に向けて動き出しているが、課題も多く困難が予想される。

<大手門跡脇櫓>

大手門左側の脇櫓は、昭和42年に再建された。



<大手門の写真> 大手門の焼失前の写真が残っている。相当大的な建物だった。



<国際センター>

ここは伊達家重臣の、登米伊達家、水沢伊達家の二つの屋敷跡に建っている。

<緑彩館（青葉山公園センター）>

追廻：大橋入り口袂にあった白石片倉屋敷跡に、現緑彩館が建った。

南奥には馬方衆屋敷があつて、馬場（馬の教練場）になっていた。



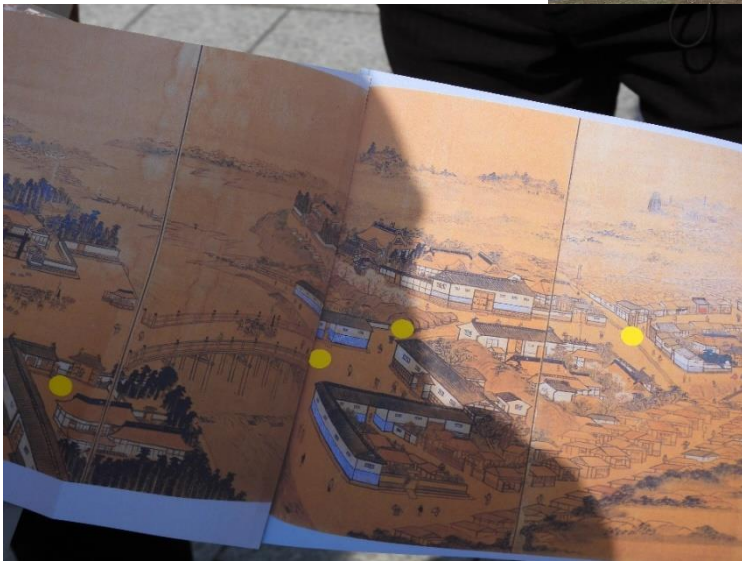
<広瀬川・大橋>

城と城下を繋ぐ大手口の橋。
慶長6年（1601年）完成。元和3年（1617年）流失。その後複数回の架橋の痕跡がある。

明治25年（1893年）鉄橋に、昭和13年（1938年）コンクリート橋に架け替えられる。

<仙台地下鉄>

大橋から地下鉄東西線の架橋を望む。



<昔の絵図>

木村さん所有の絵図に大橋が見える。



<大坂>大橋と城下を繋ぐ坂。標高34m～43mの標高差約9mの急坂。



<大坂・大町頭> 大町頭は、大町の西端



左側が城からの旧道、右側は新しい青葉通り



<仙台ヘッジ> ビルの間から太陽が昇る。



<細横丁> 幅員は3 m。拡幅され晩翠通りに。



<芭蕉の辻> 仙台城大手口から東に延びる大町（東西幹線）と奥州街道（南北幹線）の交差点。
大町三・四丁目の境、南町・国分町の境、城下で最も繁華な地点。



＜番外＞大町通りと東一番町通りの交差点、角には藤崎デパートがあり現在の仙台での一番の繁華街はこの場所。



＜昼食＞歩いた後、昼食会場の中国北京料理飛天に移動して、木村講師に本日の“まとめ”をしていただく。その後食事会にしてから解散した。